



●● 職人のこと、知ってる? ●●



どんな技能職があるのか教えて?

建設の技術を支えているのは、職人といわれる技能職に携わっている人たちなんだよ。世界最高水準の職人技、「知っているようで知らない職人の世界」を紹介していくね。イストちゃんが知りたい仕事はあるかな?



わたしはまず、「鳶(とび)職」と「左官」に興味があるの!

では、まず建築の花形「鳶職」について紹介しよう。一般的に高い所での作業を専門とする職人さん。足場の組み立や解体、鉄骨の組み立てを行う仕事なんだ。足場って見たことがあると思うけど、工事を行う際に作られる仮設の作業用床で、作業員の安全確保にとって重要な設備。柱や梁(はり)になる建築物の骨組み部分を組み立てるのは鉄骨とびと呼ぶんだ。現場の職人のリーダー的存在だよ。

「左官」は、古くから日本の建築に欠かせない職種。そのまま仕上げになる塗り壁から、コンクリートの床や壁などの下地の仕上げも行う。伝統文化財の修復といった仕事も多いんだ。美を追求する仕事なんだよ!



ぼくは、「型枠大工」について知りたいな!

「型枠大工」を知らない人も多いのではないかな。コンクリートを流し込むための木製の型枠を造る大工さんのこと。コンクリート構造物は、基礎から、柱や梁、階段など多種多様で、非常に高い技術が要求される。型枠の出来栄がそのまま建物の出来栄につながるんだ。縁の下の力持ちと呼ばれる「鉄筋工」のことは知ってる?



縁の下の力持ち?

鉄筋コンクリートに入れる鉄筋を格子状やかご状に組み立てる仕事。設計図の通りに鉄筋を組み立てるのは非常に高い技術力を要求される。建造物ごとに形状が違うからね。完成すると隠れる部分だから縁の下の力持ちなんだ。



確かに縁の下の力持ち。職人はどれも高い技術が必要で、重要な仕事よね。そんな人材を求める会社はどれくらいあるのかな?

今回は、職人さんの求人状況をお話しましょう!

